

わかりやすく、楽しく伝える県広報誌

# 美ら島沖縄

ちゅらしまおきなわ



鳩間島



## おきなわの彩

[鳩間島 サンゴ礁]

特集

7月は  
「県産品奨励月間」

企画

〈進め! うちなー調査隊〉  
どうしたら次世代に  
残せるの? 世界に誇る、  
沖縄の美しい海

### 読者 プレゼント

抽選で10名様に!

詳細はP15をCHECK



## ちゅらうちなー 草の根平和貢献賞のご紹介

県では、第3回「ちゅらうちなー草の根平和貢献賞」の受賞候補者を募集しています。ぜひ応募ください。



県女性力・平和推進課  
ホームページ

動内容をご紹介するほか、平和を発信する県主催のシンポジウムなどへの出演をお願いすることもあります。

### 5 これまでにどのような団体が受賞したの？

これまでに「ちゅらうちなー草の根平和貢献賞」を受賞した団体は、一般部門が6団体、学校部門が6団体です。

#### 一般部門

- 1 GENNO65 (ゲンノーロクゴー/オヤジバンド)
- 2 株式会社丸浩重機工業
- 3 NPO法人うらおそい歴史ガイド友の会
- 4 南風原平和ガイドの会
- 5 特定非営利活動法人メッシュ・サポート
- 6 伊禮門清吉 (味自満チエーングルメ回転・寿司回転 代表者)

#### 学校部門

- 1 つしま丸児童合唱団、那覇少年少女合唱団
- 2 恩納村立安富祖中学校1年1組
- 3 沖縄・長崎・広島から平和を考える学び合い
- 4 うるま市立宮森小学校
- 5 糸満市立糸満中学校
- 6 沖縄県立八重山商工高等学校 観光コース

### 第3回ちゅらうちなー

草の根平和貢献賞表彰式  
12月下旬開催予定



第2回表彰式の様子



学校部門



一般部門

### 1 ちゅらうちなー草の根平和貢献賞とは

沖縄県内において、平和につながる身近な社会貢献活動に取り組みの方々を2年に一度表彰しています。平和で豊かな地域社会の実現や、平和に関する県民意識の醸成に寄与することを目的としています。

### 2 応募方法について

一般部門と学校部門があり、自薦、他薦を問わず応募することができます。所定の様式に記入の上、令和5年10月2日(月)までに応募用紙と必要書類を県女性力・平和推進課まで提出(持参または郵送)してください。

詳しくは、県女性力・平和推進課ホームページをご覧ください。

### 3 受賞者はどうやって決まるの？

外部有識者を含む、被表彰者選考委員会において審査を行い、一般部門と学校部門のそれぞれ3者程度を選考します。

### 4 受賞するとどうなるの？

受賞者には、表彰状と副賞が贈呈されます。また、県ホームページなどで受賞者の活

問い合わせ

女性力・平和推進課

電話：098-866-2500

E-mail：aa001309@pref.okinawa.lg.jp

## 5/17 FIBAバスケットボールワールドカップ 2023大会100日前イベント

8月25日に開幕するバスケットボール世界最高峰の大会「FIBAバスケットボールワールドカップ2023 (FBWC2023)」100日前を記念する「FBWC2023大会100日前イベント」を開催しました。

イベントに出席した照屋副知事が「大会成功に向け、より一層取組を推進することでバスケットボールを通して沖縄から日本を、世界を元気にしてまいります」と知事あいさつを代読したほか、イタリアのプロリーグで活躍する沖縄出身の安間志織選手と「スリーポイントの神様」と呼ばれる宮城善光さんとのフリースロー対決や、出演者によるトークセッションなどが行われました。



FBWC2023デザインゴールと出演者の記念撮影

## 5/20 第73回沖縄県植樹祭

宮古島市ヤーバルやすらぎの森において、「第73回沖縄県植樹祭」を開催しました。「花香る 色彩豊かな やすらぎの森」を大会テーマに、240名の参加者がサガリバナ、ヤブツバキなど334本の苗木を植樹しました。

照屋副知事は、「甘く爽やかな香りの花を咲かせるサガリバナとヤブツバキを多数植樹することにより、市民の緑化意欲を高め、花や緑に囲まれた、色彩豊かな宮古島市の魅力の更なる向上に寄与することを期待します」とあいさつしました。

来年の植樹祭は、南城市での開催を予定しており、宮古島市長から南城市長へ苗木が引き継がれました。



照屋副知事あいさつ

## 5/22-23 令和6年度沖縄振興予算要請に向けた市町村意見交換会

県では、令和6年度沖縄振興予算要請に向けた市町村意見交換会を開催しました。この意見交換会は、各市町村のご意見やご要望などを踏まえ、県と市町村が一体となって次年度沖縄振興予算の要請に取り組むため、平成30年度から開催しています。

多くの市町村から、主に沖縄振興予算の増額と所要額確保、特に公共事業の予算確保についてご意見をいただき、



池田副知事あいさつ

座長として出席した池田副知事は、「今後、『沖縄の声』として、内閣府沖縄担当部局をはじめとする関係省庁や沖縄関係者などへ丁寧に説明し、沖縄振興予算の確保に努めたい」とあいさつしました。

## 5/31 第161回九州地方知事会議及び 第43回九州地域戦略会議

九州地方知事会議及び九州地域戦略会議が、名護市の万国津梁館で開催されました。

会議では、「第2期九州創生アクションプラン」や「ウィズコロナにおける観光振興」、「スポーツを通じた九州の活性化」などについて議論が交わされたほか、「地方創生」や「こども政策」など7つの特別決議を採択しました。

特別決議の議論の中で、玉城知事は、法定受託事務について都道府県知事が行った処分を国が裁決により取り消すことができる「裁定的関与」に関し、地方自治の観点から見直しが図られるよう、政府に対しての働きかけを求めました。



## 7/2023 July 美ら島沖縄 [ちゅらしま おきなわ] vol.574

- 02 新・沖縄21世紀ビジョン基本計画／実施計画  
ちゅらうちな一章の根平和貢献賞のご紹介
- 03 県政フラッシュ
- 04 特集：7月は「県産品奨励月間」／沖縄県優良県産品の募集
- 06 進め！うちなー調査隊  
どうしたら次世代に残せるの？世界に誇る、沖縄の美しい海
- 08 「がんピア・サポート相談室」のご案内
- 09 県の動き1 県外大学等へ進学しよう！  
県の動き2 夏休みの少年非行・犯罪被害を防ごう！
- 10 市町村ワードパズル [伊是名村]
- 11 県の動き3 沖縄県高校部活生メッセージ2023～変えよう部活、変えよう未来～
- 12 情報ひろば
- 14 県の動き4 水難事故防止のための取組と青い羽根募金への協力をお願いします!!!
- 15 読者プレゼント・広報課から7月のお知らせ・読者の声

沖縄の人口・世帯の動き  
2023年5月1日現在

146万6,068人  
総人口 ※前月比3,197人増加

63万7,198世帯  
世帯数 ※前月比3,524世帯増加

沖縄県庁広報課  
公式LINE

@okinawa-government

沖縄県庁広報課  
公式ツイッター

@okinawa\_pref



今月の表紙

おきなわの彩

「鳩間島 サンゴ礁」

撮影：小早川 渉

西表島の北側に浮かぶ鳩間島。手つかずのままの美しい自然が残り、透明度の高い海にはサンゴ群落が広がります。



本号の電子Book版とバックナンバーはホームページでご覧いただけます。

【美ら島沖縄の設置場所】

美ら島沖縄



県内コンビニ、モノレール各駅等で無料配布しています。また、公共機関や銀行、病院など多くの方々が利用する施設でもご覧いただけます。新規設置施設も受付致しておりますので、関心のある方は広報課までご連絡ください。なお、全世界向けの戸別配布は致しかねます。ご了承ください。

# 7月は「県産品奨励月間」 県産品 みんなで創る島の価値

**県産品奨励月間**

毎年7月を県産品奨励月間として、業界、消費者、行政など全県民が一体となって、県産品奨励に関する各種事業及び広報キャンペーンを集中的に実施しています。

月間中は、7月3日に行われる街頭パレード、セレモニーをはじめ県庁1階での優良県産品の展示、マンゴー直売所でのマンゴーフェアなどが開催される予定です。

積極的な県産品の愛用は、域内経済循環を高め、地場産業の振興・発展に大きく寄与するとともに、雇用の待遇改善・創出・確保など地域活性化に直接つながる有効な手段です。

県産品奨励月間を契機に、多くの県民の皆さまが県産品の魅力を再認識し、これまで以上に県産品のすばらしさを実感していただければと思います。

**県産品**

県産品には生鮮食品をはじめ、加工食品、化粧品、衣類、建設資材など、さまざまな製品があります。近年、品質や機能性、デザインなどの技術向上が進み、また県内業者の創意と工夫により、消費者や時代のニーズに合った新しい商品が生まれています。



かりゆしウェア贈呈式の様子



2023年県産品奨励月間 ポスター

なかでも、ビジネスシーンなどで正装として定着し、広く県民に愛用されている「かりゆしウェア」ですが、その定義は、県内の認定工場などで縫製された沖縄らしいデザインの衣料品を指しています。

近年では半袖シャツに限らず、ワンピースやスカート、パンツなど、オフィスだけでなくカジュアルな場面でも着用できる新たなかりゆしウェアの開発が行われています。

また、魅力ある県産品のひとつに、ウコン、長命草、シークワサーなどさまざまな県産食材を使った健康食品があります。

沖縄県健康産業協議会において、「ウエルネスオキナワジャパン(WOJ)」という独自の認証制度



**WELLNESS OKINAWA JAPAN 認証商品**

認証制度ホームページで紹介しています。▶▶

による県産品のブランド化に向けた取組を行っており、県は、同制度で認証された科学的根拠に基づいた効能などを有した優れた県産健康食品のブランド力強化、販路拡大を支援しています。(令和5年5月18日現在23商品が認証)



工業技術センターとの共同研究や技術支援により開発された商品

また、県工業技術センターでは、製品や試作品の試験検査や、企業から相談を受けての共同研究や技術指導を行うことで、新たな製品の開発や技術の導入などのサポートを行っています。  
そのほかにも、県では生産性を向上するために新たな機械の試作や技術の研究を行う企業への支援や、県外へ発注されている加工などの業務を県内企業が受注できるように企業間のマッチングにも取り組んでいます。



## 令和5年度沖縄県優良県産品 募集を開始します!



いーさあー  
沖縄産

みんなで育てる優良県産品



県では、「みんなで育てる優良県産品」をキャッチフレーズに、令和5年度の優良県産品を7月21日から8月31日まで募集し、優良県産品の販路拡大などの支援を行います。

また、クラウドファンディングを活用して事業資金を集めつつ、一般の方による投票にて審査を行う「NEXT 優良県産品」も引き続き実施します。県内企業の皆さまの成長に向けたチャレンジを応援します。皆さまのご応募お待ちしております。



### 優良県産品とは?

小売店などの審査員を中心に、市場ニーズを捉えたマーケットインの視点により、厳正な審査を経て選定された製品を県が優良県産品として推奨するものです。



### 推奨されたら?

県主催による県内外小売店などでのプロモーションイベントへの参加をサポートします。また、県内外での販路拡大などの取組に対し、商談の設定など支援を行います。



「U-22特別賞」表彰。  
22歳以下の方の取組を応援します。



令和4年度表彰式/産業まつり会場にて



県外小売店でのPR

令和5年7月21日～令和5年8月31日

申請募集

詳しくはこちら

優良県産品事務局 (株式会社クロックワーク)

098-941-3929

yuryoukensanhin@clock-work.net



WEBページ

問い合わせ

[県産品奨励月間] ものづくり振興課 電話：098-866-2337

[沖縄県優良県産品] マーケティング戦略推進課 電話：098-894-2030

進め!

# うちなー調査隊

県内の気になるコト・モノを知れば  
沖縄がもっと面白くなる!

# どうしたら次世代に残せるの？ 世界に誇る、沖縄の美しい海



その美しさに魅了されて、たくさんの方が訪れる沖縄の海は、漂着ゴミやサンゴ礁の減少といったさまざまな課題を抱えています。沖縄の財産でもある美しい海を守るために取り組んでいることは？

## 魅力的な海が抱える さまざまな問題

透明度の高い海と世界屈指のサンゴ礁に囲まれた沖縄。夏はダイビングや海水浴、冬はホエールウォッチングが楽しめる地域として、国内外から多くの観光客が訪れます。

一方で放っておけない問題も。その一つが漂着ゴミです。2022年度には1年間でおよそ577トンの漂着物が海岸で回収されていて、前年と比べ28トンも増加しています。ペットボトルや発泡スチロールといったゴミは、プラスチック由来のものが多く、プラスチックゴミは自然分解されることがないため、海洋生物が誤って食べてしまったり、海洋生態系を支えるサンゴ礁の成長が阻害されると指摘されています。

## 各地で広がる 海を守る取組

物が共存し、その周辺では昔から漁業も営まれ、人々の生活と深い関わりがあります。今ではサンゴ礁を観光資源として活用し、観光・レジャー産業がマリンスポーツを提供し、恩恵を受けています。持続可能な漁業・観光業のためにも、また未来を担う子どもたちに財産として引き継ぐためにも、サンゴ礁の保全が重要です。

現在、植栽による赤土流出防止やオニヒトデの駆除など、海を守る取組が行われています。

沖縄科学技術大学院大学と株式会社NTTドコモは、2022年3月に水中ドローンと環境DNA研究を世界で初めて組み合わせ、人が潜れなかつた深い地点に生息するサンゴの

生態を解明する共同研究を始めました。今年4月から琉球大学も参加。現在は、サンゴ礁の基礎データを収集し、分析することで、より効果的な保全策の考案が検討されています。

また、県民が積極的に取り組んでいるボランティア活動も盛んです。海岸を清掃するビーチクリーン活動は県内各地で行われているほか、ダイビング事業者が海底に沈んだゴミを回収しています。

豊かな生態系が育まれている沖縄の海は、県経済や産業にとって欠かすことのできない貴重な観光資源です。この海を守り、次世代に受け継いでいくために、まずは現状を知ることから始めてみてはいかがでしょうか。また、支援や行動をすることで、より大きな効果が生まれます。海の保全が沖縄の未来を支えることにつながります。

世界初!

## 水中ドローンを使って サンゴ礁の謎を解明!



(写真提供: 株式会社NTTドコモ)

### 研究の成果は？

座間味村をはじめとした調査で、水深80メートル以上の深さにサンゴの生息を把握！今後の調査結果にも期待大。



ホームページ



ドコモ SDGs

「私たちの海ってこのままでいいんだっけ？」

### ここがポイント！



#### 深い地点の調査も可能に！

水中ドローンを使用することで、深い地点も安全かつ簡単に調査できる。



#### 環境DNAで種類が分かる！

サンゴが排出する環境DNAを解析し、生息しているサンゴの種類が識別できる。



#### サンゴの植付にも効果！

各地点で生息しやすいサンゴの種類を把握することで、効率良くサンゴを植え付けられる。

CASE 1



[共同研究]

沖縄科学技術大学院大学 × 株式会社NTTドコモ × 琉球大学

### 産官学連携の研究で 沖縄のサンゴ礁を守る

沖縄科学技術大学院大学(OIST)、株式会社NTTドコモ、琉球大学が共同研究を行っている。採取した海水からサンゴの種類が分かる「サンゴ環境DNA解析法」と水中ドローンを使い、人では潜ることが難しかった水深でもサンゴ礁の調査が可能に。世界初の取組に座間味村も協力。新種のサンゴ発見に期待が高まる。

## さまざまな場所で広がる、海を守る取組

CASE 3



[ボランティア]

ECOONU

<https://www.j-ecoclub.jp/ecoreport/profile.php?id=1138>

ホームページ



拾ったゴミの量を分析  
全国で高い評価！

#### 子どもたちが始めた、楽しい海辺の清掃活動

海の生き物を守ろうと、子どもたちが週に一度、海岸に漂着したゴミを拾っている。南城市知念の小中高生でつくる「エコホヌ」は、コロナ禍の休校期間をきっかけに活動をスタート。「拾うだけでなく、何がどれくらい落ちているか調べよう」とゴミを分別して数値化し、海洋ごみ調査などを行う環境NGO団体に報告。地域の人に知ってもらうことがゴミの減少につながると考えまとめた壁新聞は、エコ活動に関する全国コンクールで賞を受賞した。

CASE 2



[養殖]

沖電開発株式会社

<https://www.okikai.co.jp>

ホームページ



養殖技術を活用し、  
サンゴ礁を保全！

#### 海底にサンゴの苗を植え付け、海の豊かさを守る

サンゴ礁の減少を防ごうと、県内各地でサンゴ再生の活動が行われている。サンゴの苗を作り、一定程度成長したら海に直接植え付ける取組で、保全につながると期待されている。沖電開発株式会社では2009年から、地下から組み上げた地下浸透海水を使ってサンゴの苗を育てるサンゴの陸上養殖を実施し、海底に植え付けている。その数は年間2,000本以上になるそう。修学旅行や社会科見学も受け入れ、苗作り体験や環境学習も行っている。

### 道のり！ うちなー調査隊 まとめ

豊かな海の生態系を保つことで  
沖縄は大きな恩恵を受けている



- ✓ 美しい海を守ることは未来の子どもたちへの投資につながる
- ✓ 持続可能な沖縄の漁業・観光業のためにも海の保全活動は重要！

# 「がん ピア・サポート相談室」のご案内

## がんの悩みや不安はありませんか？

がんを経験した私たち「がん ピア・サポーター」\*が、がんを経験したからこそ分かり合える仲間として、あなたに寄り添い、同じ立場でお話をお伺いします。

\*がん ピア・サポーターとは…ピアは仲間、サポーターは支援者という意味があります。がんを経験した人やその家族が、一定の研修を受けた上で活動しています。

「がんと診断され、頭が真っ白…。」  
「病院にも家族にも相談できず、不安に押しつぶされそう…。」  
「がん経験者の生の声を聞きたい…。」  
「家族ががんと診断され、どうしていいかわからない…。」

そんなありのままの気持ちを、ぜひ、「がん ピア・サポート相談室」にお寄せください。がん患者やご家族はもちろん、がんに関する不安をお持ちの方ならどなたでもご利用いただけます。相談は無料、秘密は厳守いたします。まずは、お電話かEメールでご連絡ください。

## 「がん ピア・サポート相談室」に関する問い合わせ

沖縄県委託事業 沖縄県地域統括相談支援センター  
電話:098-942-3407(直通)  
E-mail:info@gansoudan-okinawa.jp

ホームページ



## 「おきなわがんサポートハンドブック」に関する問い合わせ

琉球大学病院がんセンター  
電話:098-895-1531

沖縄県のがん患者やご家族に向けて、がんに関する情報をわかりやすくお伝えするガイドブック。がんと向き合う方々をサポートする一冊です。



無料配布  
WEB版



## 私たちがお応えします。



乳がん 経験者  
50代女性

40歳に乳がんを発症し、仕事を続けながら治療をしました。がんと向き合う時間が少しでも軽くなるようにお手伝いできたらと思います。



肉腫 経験者  
50代女性

がん治療を経験し、寛解しています。がん患者の先輩として楽しく活動中！一緒に活動していただける方を募集しています！



腎臓がん 経験者  
50代男性

不安な気持ちや心配ごとはありませんか。私もそうでした。私たちとお話をしませんか。お待ちしております。



肺腺がん 経験者  
50代女性

ステージ4の診断を受け、抗がん剤治療を経験しました。一人じゃないです。色々なお話をしながら、寄り添い、サポートをします。

問い合わせ

健康長寿課

電話：098-866-2209

FAX：098-866-2289

広告